

○氏名 小川 武史

○会員番号 PEN-0083

○試験分野 Electrical and Computer : Power

○試験日 2012年4月15日

○受験のきっかけ

PE受験の経緯ですが、上司からPEという資格を紹介され、海外で通用する技術者の養成したい会社方針もあり、「これだ！」と一念奮起した次第です。ですが、就職後10年以上経た後の、専門の電気工学についての記憶も怪しいなか、数学・機械・化学等の様々な分野が出題されるFE試験は非常に苦労しました。

2011年12月25日頃に、10月受験のFE合格通知を頂きました。2度目のFE試験の末の合格であったため、非常に感激すると共に、PE試験に向けてモチベーションが高揚しました。早速、2012年4月のPE受験を決意しました。受験科目は電気分野 (Electrical and Computer) のうち、選択したのはPower(電力)としました。電力は、日々の業務内容にもっとも近い受験科目であり、また、過去の電験3種の試験勉強経験が活かそうだったためです。

○参考書、問題集等

下記の参考書・問題集を使用。個人的な感想をコメントしました。

[A] Power Reference Manual for the Electrical and Computer PE Exam

- ・主として参考書として使用。
- ・全60章から構成され演習問題もあるが、600ページ超で、通読するに数ヶ月は必要。
- ・NCEESのホームページ掲載の試験出題範囲と対比し、出題分野のみの演習問題を解く程度。

[B] PE Electrical and Computer: Power Sample Questions and Solutions

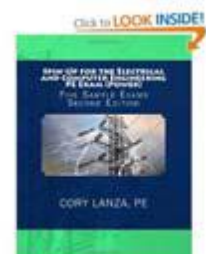
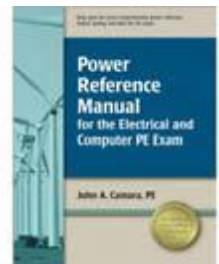
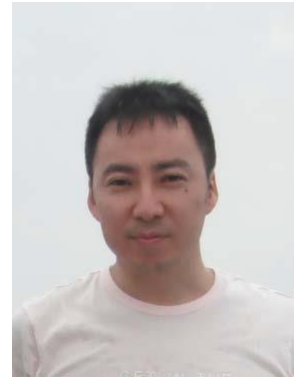
- ・試験と同じ80問から構成される問題集。
- ・この80問は全て理解することが望ましい。
- ・実際の試験に類似問題が多く出題。
- ・バイブルとして、本書に色々と書込みを記載。

[C] Spin-Up for the Electrical and Computer Engineering PE Exam (Power) : Five Sample Exams

- ・400問の問題集。
- ・上記 [B] に比べて難易度は易しく、実際の試験問題とは少し傾向が違う印象。とはいえ、いきなり [B] からスタートするよりも、基礎固めの演習問題としては効果的。

[D] NEC 2011(National Electrical Code)

- ・米国の電気規定。
- ・Code関係は、掲載の試験出題割合の12.5%



- ・上記[B]/[C]にて出題されたCodeの部分は通読し、本試験で検索できるようインデックスを貼付。
- ・目次項(Contents)を通読し、概ねどこに何が記載されているかを把握が必要。

7. 勉強法

実質、3ヶ月半しか試験準備期間がなく、勉強に避ける時間は日々の通勤電車と帰宅後の一時間程度であったため、「何を選択し、何に注力するか」の方針設定が、最初のポイントになりました。取りあえずAmazonより購入した、前述の参考書[A]・問題集[B]と、NCEESのホームページ掲載の試験出題範囲を見比べ、以下の方針としました。

・問題集[B] (PE Electrical and Computer: Power Sample Questions and Solutions) に注力

具体的には、問題集[B]にて不明な部分は参考書[A]を参照とするが、深く理論めいた部分に入りそうであれば、諦めて次の問題を解くことにしました。ですが、いきなり問題集[B]は、問題難度も高く問題総数も80問しかなかったため、問題集[C]を購入し基礎固めを行った次第です。

また、PE試験は持込可能なオープン試験であると判っていたために、「試験中スムーズに持込資料を検索できる」環境を創ることも視野に入れました。具体的には、問題集[B]をバイブルとし、下記の書込みを行いました。

[1] 問題のはじめに問題内容を記載

例えば、問題のはじめに「電動機の過電流保護」と日本語にて記入すれば、試験中に検索しやすくなります。

[2] 問題に関わる参考書[A]・法規[D]の出典先を記載

問題に使用した公式があれば、参考書[A]・法規[D]の参照ページを記載し、また、参考書[A]・法規[D]の該当箇所にはインデックスを貼付け、アンダーラインを記入。英単語もそこに記載。

PE試験日の1ヶ月前の2012年3月10日に、招待頂いた合格祝賀会(FE合格者として参加)にて、JSPEの皆様やPE試験を目指すFEの皆様から、PE試験対策についての様々なアドバイスを頂くことができました。一番耳寄りな情報として、PowerのPE試験は、問題集[B]の類似問題の出題が大半であったということです。最初に設定した方針にブレがなかったことと、試験までの残り1ヶ月間を問題集[B]にひたすら注力すれば良いことが判明したことは、私自身として安心感を得ることができ、非常にありがたかったです。

また、私と同じく4月にPE受験を控えたFEの皆様から、モチベーションも頂くことができました。おかげ様で、PE試験合格に無事合格することができました。私自身のPE試験勉強対策の結論です。出第問題に対して、その問題の理論を深く理解するより、参考書・法規等どこを調べれば回答が得られるかを把握することが重要であると思います。

8. 試験当日

試験会場に持参した参考書は、上記[A]～[D]と下記の資料でした。

・英語辞典

・コンパクト!!工業技術英単語集 -英和・和英- 高橋春雄編 森北出版株式会社

結構な物量でしたので、キャリーバックに収納しました。当日に一番使用した参考書としては、自身で色々書

込みをした問題集[B]、法規集[D]でした。

午前4時間・午後4時間の長丁場ですので、脳を活性化するため、チョコレートを持参し糖分補給を心がけました。お茶・コーヒー類はトイレが近くなるために、ミネラルウォーターとしました。

実際の試験ですが、アドバイス通り参考書[B]の類似問題が半数近く出題されておりました。参考書[B]と心中した私は、試験中さほどパニックに陥ることもなく、類似問題についてはサクサクと回答でき、類似問題以外の問題に注力することができました。試験後の個人的な出来ですが、試験問題の1/3は正当の自信有、1/3は2択まで絞り、1/3は自信無しという感触でした。

9. 最後に

合格祝賀会にて色々とアドバイスを頂きましたJSPEの皆様、PE試験合格者の皆様、PE目指すFEの皆様につきましては、色々とアドバイスを頂くことができ、PE試験に合格することができました。心より御礼申し上げます。また、試験勉強中に週末を犠牲にしてくれた妻・子供たちに感謝いたします。

今後、PE登録に向けて引き続き、JSPEの皆様にはご迷惑をお掛けすると思いますが、引き続きご協力・ご助言のほど宜しくお願いいたします。